

有機銅水和剤（商品名：ドキリンフロアブル）は ナシ黒星病に対する7月下旬頃の防除に有効である

福島県農業総合センター 果樹研究所 病害虫科

- 1 部門名 果樹－ナシ－病害虫防除
- 2 担当者名 小松健太郎、日下部翔平
- 3 要旨

本県農作物病害虫防除指針において、ナシ黒星病の発生が多い場合は、7月30日頃に薬剤散布を実施することとしている。そこで、この時期のナシ黒星病に対する防除薬剤として有機銅水和剤（商品名：ドキリンフロアブル）の防除効果を検証した結果、本剤が有効であることが明らかとなった。

- (1) 有機銅水和剤は、慣行防除薬剤であるイミノクタジンアルベシル酸塩水和剤（商品名：ベルコート水和剤）と同等に高い防除効果を示したことから、本剤がナシ黒星病に対して有効であることが示された（表1）。
- (2) 散布16日後の本剤による汚れは果実と同系色で目立たず、実用上問題なかった（図1）。
- (3) 本剤は令和7年版農作物病害虫防除指針において、7月下旬の薬剤として採用した。

表1 ナシ黒星病に対する有機銅水和剤の防除効果（2024年）

供試薬剤	倍率	供試果数	発病果数	平均病斑数	発病果率(%)	防除価
有機銅水和剤 (ドキリンフロアブル)	1000	28	4	0.2	14.3	94.3
イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤 (ベルコート水和剤)	1000	29	5	0.3	17.2	92.7
無処理		30	22	3.8	73.3	

※「甘太」果実を対象に、7月24日に薬剤を散布して風乾後、黒星病菌を接種。発病調査は9月25日に実施。

※防除価は平均病斑数/果から算出。



図1 有機銅水和剤を散布した果実（散布16日後）

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 果樹の重要な病害虫に対する防除技術の確立

5 主な参考文献・資料

- (1) 藤田ら、ナシ晩生種「王秋」及び「甘太」の黒星病に対する梅雨期以降の果実感受性、令和2年度参考となる成果
- (2) 令和7年版福島県農作物病害虫防除指針